

年間高値の時期と翌年の日経平均株価の関係

Raku
Yomi

楽読(ラクヨミ)

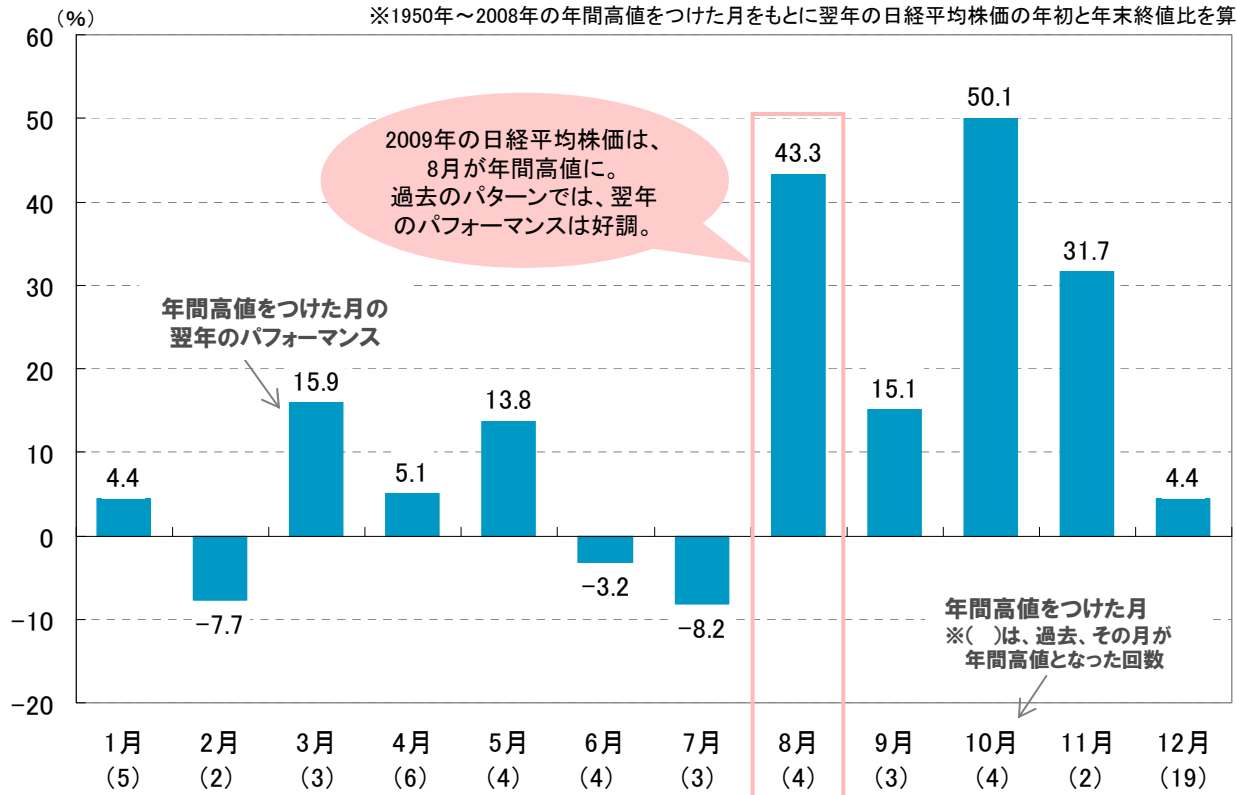
nikko am
fund academy

2009年の日経平均株価は、1年間で16.6%(年初と年末終値比)の上昇となり、騰落は3年ぶりにプラスとなりました。日経平均株価は、特に、年末になって上昇ピッチを速め、8月につけた年間高値(終値ベース)10,639.71円の更新まであとわずかまで迫る場面がありましたが、結局、年内最後の取引となった30日は10,546.44円と年間高値更新には至りませんでした。

下図は、1950年から2008年までの各年において、日経平均株価が年間高値(終値ベース)をつけた月と、その翌年の日経平均株価のパフォーマンス(パフォーマンスは平均値、以下同様)との関係をまとめたものです。過去においては、12月に高値をつけるケースが圧倒的に多い結果となっています。心理的には、12月に年間高値を記録すると、その勢いが翌年の好調につながると期待したくなるようです。しかしながら、実際には、12月に年間高値をつけた翌年のパフォーマンスは、小幅な上昇に留まるなど、必ずしも良いものではありませんでした。その一方で、8月や10月に年間高値をつけた翌年のパフォーマンスは大変順調な結果でした。あくまで過去のパターンに過ぎませんが、2009年の年間高値が8月となったことは、2010年の相場が好調であると期待され、その行方が注目されます。

日経平均株価が年間高値をつけた月とその翌年の平均パフォーマンス

※1950年～2008年の年間高値をつけた月をもとに翌年の日経平均株価の年初と年末終値比を算出



※信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成
※上記は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

日興アセットマネジメント

■当資料は、日興アセットマネジメントが市況等についてお伝えすることを目的として作成したものであり、特定ファンドの勧誘資料ではありません。また、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるものではありません。なお、掲載されている見解は当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。■投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。